

【続報】加藤先生の出前授業

加藤芳郎氏(応用理学部門)が浜田市の今福小学校で地質を教える出前授業をH28以来続けていることは昨年紹介したとおりである。この授業が先生のあいだで評判となり、今年も原井小学校でも出前授業が行われた。先生方も専門家の話を生徒に聞かせることを大切に思っているようだ。

原井小学校は浜田合同庁舎やユメタウンと道を挟んで隣合う市街地にある。出前授業は6年生の2クラス(1クラスは約20人)を対象にしているが、暁が浦で2クラス合同の野外学習を半日(2時限)、教室での授業をクラスで日を変えて各2時限やるのだから準備等を含めると大変な労力である。

教室での授業は、先生や生徒が野外で採取した石をハンマーで割り、石の硬さを体感してもらうとともに、石には様々な種類があることを知ってもらう。そして、岩石標本を使いながら大地の成り方を加藤先生が教える。また、後半は地震に焦点を当て、地震のメカニズムからハザードマップの利用まで、液状化の実験を交えながら授業が進められた。その内容は多岐にわたり、しかも高度のように思われたが、教科書に則っているようだ。

こうした出前授業は盛んなようで、通常は担任の先生の提案で企画されると校長先生から教えていただいた。校長先生はその応援役だそうだ。海の近い原井小学校では、たとえば浜田港の漁師が魚を並べ、その前で授業をしたとか、生徒がアジをさばいてフライにする授業をしたとか、地元ならではの出前授業もあるそうだ。筆者の頃には考えられなかったことで、先生が生徒に対して丁寧語を交えて話すことや、授業中に生徒が私語を慎まないことなども含め、ずいぶん様相が変わっている。

さて、加藤氏によれば、浜田は野外学習に好適地の暁が浦があるからできる、これ以上受け持ちを増やすのは大変、とのことだが、出前授業の評判は更なる評判を呼ぶであろうことは間違いなさそうだ。(長嶺元二)



ハンマーで石を叩く生徒たち



授業風景



加藤先生